



## 2024年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2023年10月13日

上場会社名 株式会社スタジオアタオ 上場取引所 東  
コード番号 3550 URL <https://www.studioatao.jp>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 瀬尾 訓弘  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理部 (氏名) 山口 敬之 (TEL) 03-6226-2772  
ゼネラルマネージャー  
四半期報告書提出予定日 2023年10月13日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年2月期第2四半期の業績 (2023年3月1日～2023年8月31日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年2月期第2四半期	1,451	—	49	—	47	—	26	—
2023年2月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円	銭	円	銭				
2024年2月期第2四半期	1.87	—	—	—				
2023年2月期第2四半期	—	—	—	—				

(注) 当社は、2023年2月期第2四半期は連結業績を開示しておりますが、当第2四半期より非連結での業績を開示しております。そのため、2023年2月期第2四半期の経営成績(累計)及び対前年同四半期増減率は記載しておりません。

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年2月期第2四半期	3,496	2,485	71.1
2023年2月期	3,788	2,554	67.4

(参考) 自己資本 2024年2月期第2四半期 2,485百万円 2023年2月期 2,554百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
2023年2月期	—	0.00	—	5.00	5.00	—
2024年2月期	—	0.00	—	—	—	—
2024年2月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2024年2月期の業績予想 (2023年3月1日～2024年2月29日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	3,750	1.1	100	—	100	—	50	—	3.56	—

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2024年2月期2Q	14,037,000株	2023年2月期	14,037,000株
2024年2月期2Q	123,096株	2023年2月期	7,296株
2024年2月期2Q	13,975,181株	2023年2月期2Q	14,015,900株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予測の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当社は、ロベルタ事業の終了等に伴いロベルタ ディ カメリーノ ファーイースト株式会社を解散し清算することを決議したこと等から、同社を連結の範囲から除外し、第20期第1四半期会計期間より非連結決算に移行しております。上記により第1四半期累計期間より四半期連結財務諸表を作成していないため、前年同四半期累計期間との比較分析は行っておりません。

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響による行動制限が緩和され、経済活動は正常化に向かいつつある一方、円安の影響や物価の上昇、ロシア・ウクライナ情勢の長期化に起因するエネルギー価格の高騰や世界的な金融引き締めを背景とした景気後退懸念等により依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような環境の中、当社は、「ファッションにエンタテインメントを」を理念とし、オリジナルバッグ・財布等の提供を通じて「お客様に非日常のワクワク感を提供すること」を目指し、引続き販売促進費への投資やSNS活動の強化等を行っております。また、前事業年度にオープンした当社ブランドのオンラインサイトが集積したモデル型の新ECサイト「ATAOLAND+（アタオランドプラス）」に係るプロモーション等を継続し、店舗とECのOMOの推進や当社が展開する各ブランド価値の更なる向上、顧客サービスの強化等を図っております。加えて、ATAOブランド初のライセンス展開として、2023年5月よりゴルフラインの販売を開始し、ライセンスによる販路拡大等を行っております。キャラクターブランドであるILEMERにつきましては、国内の有名動画クリエイターとコラボしたプロモーションを展開するとともに、2023年8月には「イルメールギャラリー」をオープンしております。また、ハッピードールの関連商品の拡充やアパレルラインの新規展開等、新商品の投入を強化しております。

その結果、当第2四半期累計期間の販売業態別の売上高は、前第1四半期累計期間中にATAO京都店を出店したこと等により店舗販売が831,548千円となり、また、ATAOLAND+への移行等に伴いインターネット販売が607,503千円となりました。

以上により、当第2四半期累計期間の業績は、売上高が1,451,086千円となり、ATAOLAND+に係る販売促進費の継続的な投資を行ったこと等により、営業利益49,424千円、経常利益47,804千円、四半期純利益26,173千円となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期会計期間末の資産については、総資産は3,496,673千円であり、前事業年度末と比較して292,210千円減少しております。主な減少要因は、現金及び預金が237,191千円減少したことです。

負債につきましては、負債合計は1,011,603千円であり、前事業年度末と比較して223,162千円減少しております。主な減少要因は、長期借入金が179,166千円減少したことです。

純資産は2,485,070千円であり、前事業年度末と比較して69,048千円減少しております。主な減少要因は、利益剰余金が43,975千円減少したことです。

#### ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物は、1,556,590千円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

##### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得したキャッシュ・フローは69,889千円となりました。これは主に、税引前四半期純利益47,804千円の計上、未払金の増加額54,176千円による資金の増加があった一方、仕入債務の増加額74,853千円、棚卸資産の増加額64,405千円による資金の減少があったことによるものであります。

##### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用したキャッシュ・フローは7,700千円となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出6,144千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用したキャッシュ・フローは299,380千円となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出180,606千円によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年2月期の業績予想につきましては、2023年4月12日に公表いたしました業績予想から変更点はありません。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年2月28日)	当第2四半期会計期間 (2023年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,793,782	1,556,590
売掛金	157,612	127,382
商品	853,512	917,917
その他	134,054	106,462
流動資産合計	2,938,961	2,708,353
固定資産		
有形固定資産	317,143	299,946
無形固定資産	7,478	6,226
投資その他の資産	525,300	482,146
固定資産合計	849,922	788,319
資産合計	3,788,884	3,496,673
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	82,571	15,198
1年内返済予定の長期借入金	359,772	358,332
未払法人税等	5,995	17,166
ポイント引当金	1,009	5,621
その他	161,031	167,839
流動負債合計	610,380	564,157
固定負債		
長期借入金	556,668	377,502
退職給付引当金	23,163	25,352
資産除去債務	44,553	44,590
固定負債合計	624,384	447,445
負債合計	1,234,765	1,011,603

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年2月28日)	当第2四半期会計期間 (2023年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	398,961	398,961
資本剰余金	394,699	394,699
利益剰余金	1,760,533	1,716,558
自己株式	△76	△25,150
株主資本合計	2,554,118	2,485,070
純資産合計	2,554,118	2,485,070
負債純資産合計	3,788,884	3,496,673

(2) 四半期損益計算書  
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	当第2四半期累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)
売上高	1,451,086
売上原価	448,852
売上総利益	1,002,234
販売費及び一般管理費	
販売促進費	302,024
その他	650,786
販売費及び一般管理費合計	952,810
営業利益	49,424
営業外収益	
受取家賃	240
法人税等還付加算金	222
その他	50
営業外収益合計	512
営業外費用	
支払利息	2,132
営業外費用合計	2,132
経常利益	47,804
税引前四半期純利益	47,804
法人税、住民税及び事業税	11,180
法人税等調整額	10,451
法人税等合計	21,631
四半期純利益	26,173



## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当第2四半期累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税引前四半期純利益	47,804
減価償却費	24,593
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	2,189
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	4,611
支払利息	2,132
売上債権の増減額 (△は増加)	30,230
仕入債務の増減額 (△は減少)	△74,853
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△64,405
未払金の増減額 (△は減少)	54,176
その他の資産の増減額 (△は増加)	29,498
その他の負債の増減額 (△は減少)	4,239
その他	26
小計	60,245
利息及び配当金の受取額	10
利息の支払額	△2,132
法人税等の支払額	△1,048
法人税等の還付額	12,814
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>69,889</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
有形固定資産の取得による支出	△6,144
その他	△1,556
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△7,700</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
長期借入金の返済による支出	△180,606
配当金の支払額	△68,965
自己株式の取得による支出	△49,809
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△299,380</b>
<b>現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)</b>	<b>△237,191</b>
現金及び現金同等物の期首残高	1,793,782
<b>現金及び現金同等物の四半期末残高</b>	<b>1,556,590</b>

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 当第2四半期累計期間(自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)

当社の事業セグメントは、ファッションブランドビジネス事業のみの単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。